

研究データ利活用協議会 (RDUF)
公開シンポジウム プログラム

日時：2021年11月22日(月) 14:30-18:00

第1部： 14:30～16:00

第2部： 16:15～18:00

開催方法：オンライン (Zoom ミーティング)

開催概要：

<第1部>

RDUFにおける活動報告や、RDUF会員による国内の研究データ利活用に関する活動紹介等を行います。

<第2部>

「計算社会科学とゲノム医療分野での研究データ利活用の実際」をテーマとしたプレナリーセッションを実施します。いずれも社会にとって直接大きな影響を与えるものであり、データの収集から、分析、データの公開に至るまで、様々な制約を設けつつも、透明性と流通性を確保する試みが継続的に行われています。これらの事例が、多くの学術、産業活動における研究データのオープン・クローズ戦略に多大な示唆を与えることで、活発な議論が生じることを期待します。

時間	内容
14 : 30	開会挨拶
第 1 部 14 : 35- 16 : 00	RDUF 活動紹介セッション
14 : 35	研究データ利活用協議会の活動の紹介
14 : 43	小委員会活動紹介 (モデレータ : 鈴木 宏子委員) <ul style="list-style-type: none"> ・ 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討小委員会 ・ 研究データへの DOI 登録促進小委員会
15 : 00	部会活動報告 (モデレータ : 鈴木 宏子委員) <ul style="list-style-type: none"> ・ データ共有・公開制度検討部会 ・ ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会 (JDARN)
15 : 30	RDUF 会員による研究データ利活用に関するライトニングトーク (氏名五十音順・発表順未定) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人文学・社会科学総合データカタログ (JDCat) と分野横断データの利活用」 池内 有為 (文教大学/日本学術振興会人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター) ・ 「Mahalo ボタンの紹介と DIAS での利用事例」 北本 朝展 (国立情報学研究所) ・ 「NIES/CGER における研究データ基盤整備」 白井 知子 (国立環境研究所) ・ 「国立国会図書館が提供するオープンソース&データセット」 徳原 直子 (国立国会図書館) ・ 「ジャパンサーチの API を用いたオープンデータの活用」 中村 覚 (東京大学) ・ 「人文系研究データのための TEI (Text Encoding Initiative) ガイドライン」 永崎 研宣 (一般財団法人人文情報学研究所) ・ 「NIES/CGER における研究データ管理システム (GERDaMS)」 福田 陽子 (国立環境研究所) ・ 「大学における研究データポリシー策定の推進」 船守 美穂 (国立情報学研究所) ・ 「JPCOAR 研究データ作業部会活動報告」 結城 憲司 (オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)、九州大学附属図書館)

第2部 16:15- 18:00	プレナリーセッション 「社会科学と医療分野での研究データ利活用の実際」
16:15	始めに: RDUFが進める研究データとコミュニティー連携 講演者: 青木 学聡 (RDUF 企画委員会委員長/名古屋大学)
16:20	「計算社会科学における社会データの取得とその利用」 講演者: 鳥海 不二夫 (東京大学) モデレータ: 大向 一輝 (東京大学)
16:55	「わが国のゲノム医療におけるデータ利活用の現状と今後の展望」 講演者: 荻島 創一 (東北大学) 「Global initiatives in Genomics and Health」 講演者: Peter Goodhand (Ontario Institute for Cancer Research) ※同時通訳あり モデレータ: 高井 貴子 (日本医療研究開発機構)
17:55	総括

※時間、進行については前後する可能性があります。